

タキガハナファーム(株)

きどぐち みなみ

★★【輝く女性】木戸口 美波さん★★

(福井県鯖江市下野田町)

タキガハナファーム株式会社は、鯖江市西部において、米を中心に、麦、そばの栽培を行っています。米はコシヒカリ、あきさかり、いちほまれなど6品種を生産しており、ピロール農法にも取り組んでいます。

木戸口美波さんは宮城県出身で、南越前町出身の夫とともに、約10年前に移住。3年前にタキガハナファームに入社し、現在は現場全体を統括する立場として、瀧ヶ花代表とともに農園経営の発展、地域農業の継続を目指しています。

【女性活躍のポイント】

1. 信頼関係を築く力

- 一人ひとりと向き合い、丁寧に言葉を交わすことで、従業員同士の信頼を深め、生産性や現場の成果向上に結びつけていく。

2. 人を育てる力

- 女性ならではの観察力や共感力を活かし、「任せる」と「支える」のバランスを取りながら、若手人材の育成に繋げていく。

3. 変化を見抜く力

- 田んぼの状態や従業員の様子など、小さな変化に気付きやすい。見落とされがちなサインを拾い、トラブルを未然に防ぐ。

【経営概要】

経営面積：80 ha

生産品目：米、大麦、そば



ピロール農法によるコシヒカリも生産しています



「もっと良くなる」という前向きな気持ちを原動力に取り組む



「手をかけるほど田んぼへの愛おしさが増します」と話す木戸口さん

【木戸口 美波さんの農業に対する想い】

- 農業アルバイトを通して、多様な作物の生産にも携わってきました。そうした経験を通じて「自然の循環」や「人とのつながり」の大切さを学び、現在のタキガハナファームでの仕事にも活かされていると感じています。

- 稲作は、米を作る営みであると同時に、田んぼという命を育む場に寄り添ってその声に耳を澄ますことでもあると考えています。田んぼが田んぼとしての機能を保ち続けられるよう、責任と愛情をもって管理しています。畦の修繕など地道な作業が多いですが、その積み重ねこそが田んぼの生命力を守り、自然と人の営みを未来へと紡いでいくのだと感じています。

- 瀧ヶ花社長とは、年齢も性格も性別も違いますが、お互いの弱みを補い合いながら歩んでいます。ときには意見がぶつかることもありますが、社長の姿勢を心から尊敬しています。私たちが目指す先は同じであり、社長の「90歳まで米づくりを続けい」という想いを、従業員と力を合わせて必ず実現したいと考えています。

【瀧ヶ花 祥晃 代表取締役からひとこと】

- 朝早くから圃場の水回りを行う木戸口さんの姿には、仕事への責任感とやる気を感じられます。田んぼや地域のことを心から思う真摯な気持ちに、深く感謝しています。
- 木戸口さんは、物事をよく考えて、一生懸命に仕事をされます。口数の少ない私に代わって、従業員への的確な指示や段取りをしてくれるため、私の負担も大きく軽減されています。会社にとっても私にとっても非常に頼りになる、欠かせない存在です。



「地域の農地を守っていきたい」と話す代表の瀧ヶ花さん